

<森のクイズラリー> 問題&解説シート 2022年度冬版

A

Q. 冬の間、八ヶ岳から甲府盆地にかけてふく冷たくて強い風を「八ヶ岳●●●」といいます。●●●にあてはまるものはどれでしょう。

- ① おろし ② つむじ ③ あらし

【こたえ】 ①おろし

おろし(漢字では風)とは、山などから吹き降りてくる強い風のこと。

冬の時期、八ヶ岳では昔から、このすさまじい風が吹き降りてくるため、「風きり」とよばれる防風林のアカマツ林が山麓の村に作られてきました。ふれあいセンター周辺の高根町には、村人が暴風雨除けにと願いを込めて作った「風の三郎社」という小さな祠があり、宮沢賢治さんの童話「風の又三郎」創作のヒントになったと言われています。

B

Q. 冬でも緑色の葉が生えたままの木を探し、葉の特徴をできるだけ多く書いてみましょう。(絵でもOK)

【こたえ】 あなたの書いた答えが正解!

冬でも緑の葉の木は、ふれあいセンター周辺に、主に2種類あります。

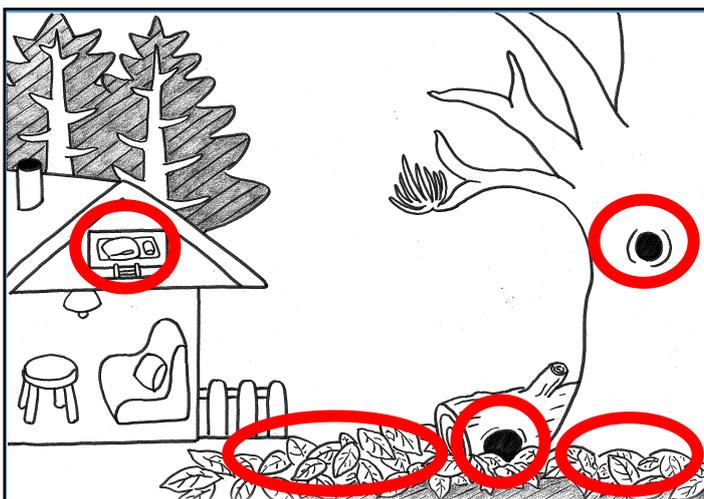
- アカマツ : 幹が赤く、球果(=まつぼっくり)の中に種が入っている
- 葉の特徴……細長い 先がとがっている 2枚で1セット 平な面と半円状の面がある

○ウラジロモミ : モミの木の仲間、クリスマスツリーや長野県諏訪大社の御柱祭に使われる

- 葉の特徴……つやつやの緑色 かたくて細い葉っぱ 葉の裏に白いスジがある
- 葉っぱをちぎると柑橘系の香りがする

C

Q. 清里に住むヤマネが、「冬眠」に使う場所を絵の中から一つ選び、○でかこんでみましょう。



【こたえ】

- <おもな冬眠場所>
 - ・地面の落ち葉の中
 - ・枯れ木(朽ち木)穴の中
 - ・木の穴(うろ)の中
- <意外な冬眠場所>
 - ・人家の屋根裏部屋など

D

Q. 冬はほとんどの葉が枯れてしまい、
動物にとってエサが少ない厳しい季節です。
清里でみられるシカは、どのようなものを食べて冬をしのいでいるでしょう
か？(答えは一つとは限りません)

① 地面にすむ虫

② 木の皮

② 仲間のシカ

④ 土

【こたえ】 ②木の皮、④土

センター周辺では、早朝や夕方になると、
牧草地にあらわれて、草を食べているシカの群れがみられます。

牧草地が雪におおわれる冬には、木の皮を食べたり、

ミネラルがふくまれる土をなめたりしているようです。

清里の冬は-10℃以下(冷凍庫並み!)になることもあり、

シカは厳しい寒さの中、エサを探しもとめて活動しているのです。

E

Q. 冬眠するヤマネ、少ないエサを探しているシカ・・・
厳しい寒さの中で、懸命に生きる森の生きものたちに
あなただったらたら、どんな声をかけてあげますか？

【こたえ】 あなたが書いた答えが正解！

一見、静かな冬の清里の森には、シカやリスなどの哺乳類、野鳥、地面の中のモグラ、
虫、植物、などの色々な生きものたちが暮らしています。

リスやネズミたちは冬が来る前に食料のドングリなどを集めて地面に埋め、エサが少な
い冬に備えます。シカの冬毛は太陽の光をより吸収しやすいように濃い色になります。

工夫をして厳しい冬を乗り越えようと頑張る生きものたち！

清里から帰った後は、皆さんのお家のまわりなど、身近な生きものに目を向けて、

どのように冬を生きているか、ぜひよく見て優しく声をかけてみて下さいね！